

タイにマスクを送ろう、難民に服を送ろう

11月13日(金)

毎年、本校では3年生を対象に性教育の講演会を行っています。講師は野村啓子先生です。野村先生は元体育教師で、現在は性教育を行う傍ら、タイのチェンライの少数民族の支援を自費で行われています。

先日、お出会いした時に、タイの学校の話になり、私が「何か本校生徒がお手伝いできることはありませんか？」と尋ねると、野村先生が「今度タイに行くので、何度も洗って使えるマスクが欲しい。今はコロナの影響でマスクが一番喜ばれるし、私が持って行ける。」と話されたので、臨時休業中に家庭科の課題としていたマスクの制作を再度生徒全員で行うことにしました。

先日の生徒集会で家庭科の先生が、野村先生がタイで活動されている写真を動画にまとめ、生徒たちに紹介しました。音楽入りで素晴らしいできでした。「野村先生の下承を得て、HPで動画配信したら、地域からもマスクが集まらないか。」という声もありました。

昨日は1年生で、今日は3年生が制作しています。週明けには2年生も制作します。可愛い柄の布に交じって、今流行りの「鬼滅の刃」の主人公の羽織デザイン柄のマスクも作っています。



毎回自前のお土産を子ども達にプレゼント



また、和田中学校生徒会の呼びかけで、「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの活動も同時に行っています。これはユニクロなどを展開するファーストリテイリングが中心となり、リサイクルの服で難民を支援する活動です。職員室前の廊下に設置された回収用の箱には少しずつ家庭で着なくなった服が集まり始めました。

この活動は、まだ着られるのに捨てられてしまう服がある一方で、世界には必要な服が足りない人たちがいます。着なくなった服を回収して、



難民など服を必要としている人たちに届ける取組です。

昨年度は合唱交換会を行いました。本年度は山南中と和田中生徒会による初めてのコラボ企画として、この取組を進めています。